

U C R 大 磯 港

# 土 砂 搬 入 の 手 引 き

(公財)神奈川県都市整備技術センター受付編

# 大磯港 土砂搬入の手引き

## 目 次

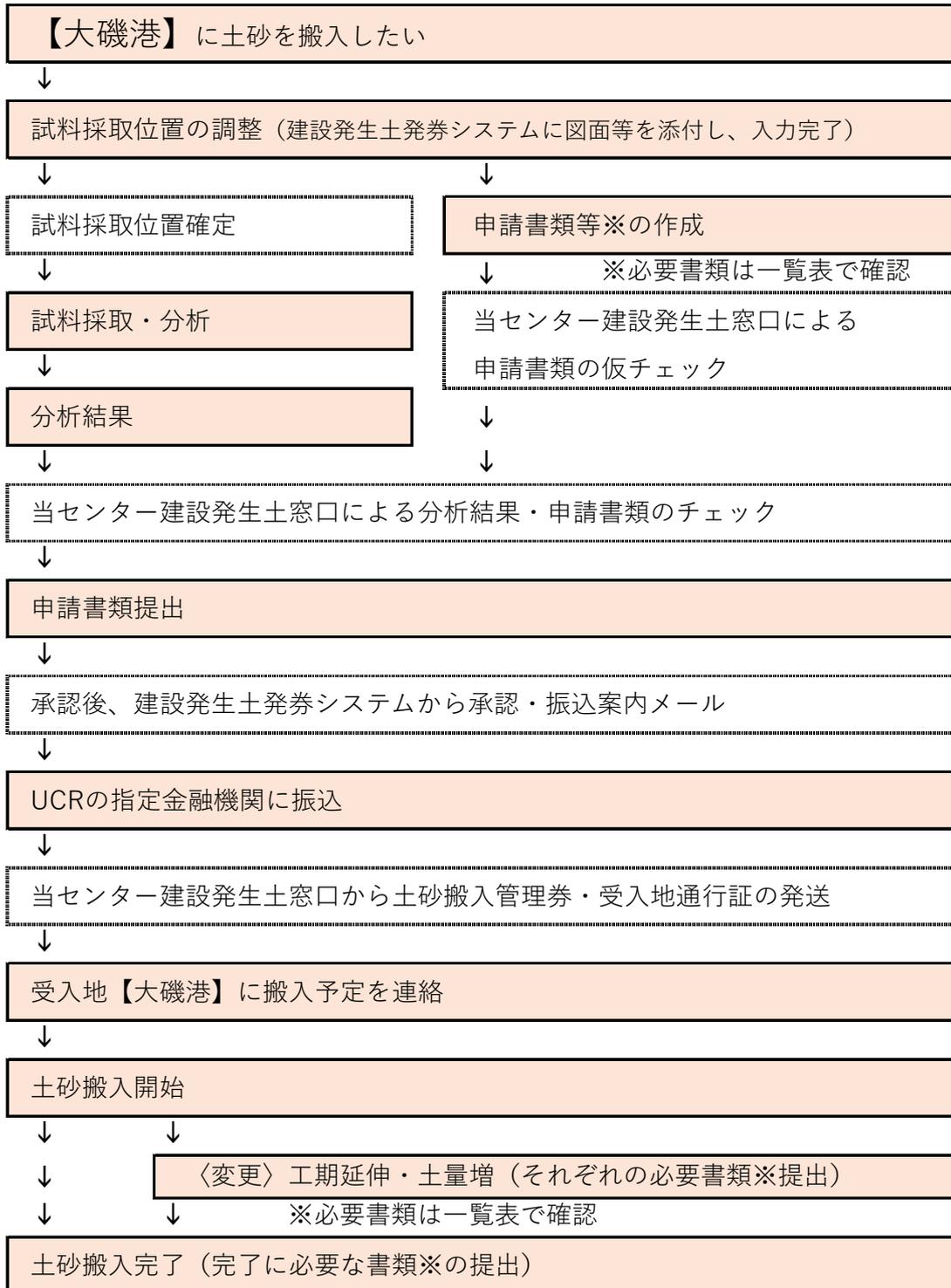
□ 大磯港 受入可能 土質条件 .....	1
□ 手続きフロー .....	2
□ 大磯港 提出書類一覧 .....	3
□ 大磯港 試料採取・写真撮影 注意点 .....	4
□ 〈新規申込〉 記入例 .....	6
□ 〈変更〉 記入例 .....	28
□ 〈完了〉 記入例 .....	34

UCR大磯港 受入可能 土質条件	第1～3種建設発生土、最大粒径100mm、下表の地質分析試験の <b>基準値の8割</b> を満たすもの(ただし、ダイオキシン類及び水素イオン濃度については、基準値(10割)を満たすもの)
---------------------	--

地 質 分 析 試 験 項 目					
	計 量 の 対 象	単 位	基 準 値	計 量 方 法	
特 定 有 害 物 質 試 験	溶 出 量 試 験	カドミウム	mg/L	0.003以下	「土壌の汚染に係る環境基準について」 (平成3年8月23日環境庁告示第46号付表)
		全シアン	mg/L	不検出	
		有機燐	mg/L	不検出	
		鉛	mg/L	0.01以下	
		六価クロム	mg/L	0.05以下	
		砒素	mg/L	0.01以下	
		総水銀	mg/L	0.0005以下	
		アルキル水銀	mg/L	不検出	
		PCB	mg/L	不検出	
		ジクロロメタン	mg/L	0.02以下	
		四塩化炭素	mg/L	0.002以下	
		クロロエチレン	mg/L	0.002以下	
	28 項 目 試 験	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004以下	
		1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1以下	
		1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下	
		1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	1以下	
		1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006以下	
		トリクロロエチレン	mg/L	0.01以下	
		テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下	
		1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.002以下	
		チウラム	mg/L	0.006以下	
		シマジン	mg/L	0.003以下	
		チオベンカルブ	mg/L	0.02以下	
		ベンゼン	mg/L	0.01以下	
		セレン	mg/L	0.01以下	
		ふっ素	mg/L	0.8以下	
		ほう素	mg/L	1以下	
		1,4-ジメチル	mg/L	0.05以下	
含 有 量 試 験 ( 3 項 目 )	銅(農用地)	mg/kg	125未満	昭和47.10 総令66号第1条第3項及び第2条	
	砒素(農用地)	mg/kg	15未満	昭和50.4 総令31号第1条第3項及び第2条	
	ダイオキシン類	pg-TEQ/g	1,000以下	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル	
※上記特定有害物質(溶出量試験及び含有量試験(ダイオキシン類を除く)) 基準値の8割までを受入対象とする。					
その他の試験	水素イオン濃度		5.8以上8.6以下	「土壌の汚染に係る環境基準について」 (平成3年8月23日環境庁告示第46号付表)	
試験頻度	1回/5,000㎡(同一土質、同一施工場所)				
土質試験	ボーリング柱状図(N値6.4以上)、締め固めた土のコーン指数試験、または、ポータブルコーン(コーン・ペネトrometer)貫入試験のいずれかの資料(第3種建設発生土以上の確認書類)を提出				

水素イオン濃度の結果は別紙で提出してください。(水素イオン濃度を除いた結果は地質分析(濃度)結果証明書(様式5-2)に記載し、水素イオン濃度結果と分けて提出してください。)

手続きフロー



※申込土量より搬入量が減少している工事 = 「土砂搬入完了精算書」、  
「未使用の土砂搬入管理券」、「受入地通行証」及び下記の書類を提出

※上記外の工事 = 「土砂搬入完了確認書」または「土砂搬入完了届」

のどちらか一方を提出、また「受入地通行証」の提出

## 【大磯港】 提出書類一覧

	土砂搬入申込			分割発券 申請2回目 以降	土砂搬入完了	
	及び発券申請		工期 延伸		全量 搬入	減量 搬入
	新規	増量変更				
土砂搬入申込書（様式1）	●	●	●			
工事位置図	●					
運搬経路図	●					
土砂搬入計画表（様式2）	●	●	●	○		
分割発券申請予定表（様式3）	○	○		○		
発券申請書（様式4）	●	●		●		
工事平面図	●	○				
工事断面図 等	●	○				
ダイオキシン類含有濃度	●	○				
土質試験結果	●	○				
検 体 毎 に 提 出	土砂等発生元証明書（大磯港用）	●	●	●		
	検査試料採取調書（様式7-1）	●	○			
	試料採取位置図（平面図）	●	○			
	試料採取位置図（断面図）	●	○			
	地質分析(濃度)結果証明書（様式5-2）	●	○			
	水素イオン濃度結果証明書(注1)	●	○			
	試料採取状況写真	●	○			
	土量計算書	●	●			
	土量計算用図面（平面図、断面図等）	●	●			
土量総括表（複数検体の場合）	○	○				
工期・土量変更証明書（様式8）		●	●			
副申書	●	●			●	
土砂搬入完了精算書（様式9）					●	
土砂搬入完了届（様式10）					●※	
土砂搬入完了確認依頼書（様式11）					○	

●…提出を必須とする書類、○…必要に応じて提出する書類

※…どちらか一方の書類提出

(注1)：水素イオン濃度証明書の表題は「計量証明書」、「濃度計量証明書」などとし、書式は任意、特に決まりはありません。

## 受入地「大磯港」における試料採取方法及び写真撮影（5地点混合方式）

※5,000 m<sup>3</sup>毎に1検体（5試料）採取してください。

※試料採取については、採取前に必ず事前に建設発生土窓口に確認してください。  
 事前の確認がない場合は、再度の地質分析をお願いしたり、受け入れをお断りすることもあります。

(凡例) 試料採取位置

● 揮発性物質を含む地質分析試験全項目用

## 【敷地が四角に近い場合の試料採取】

(掘削平面)

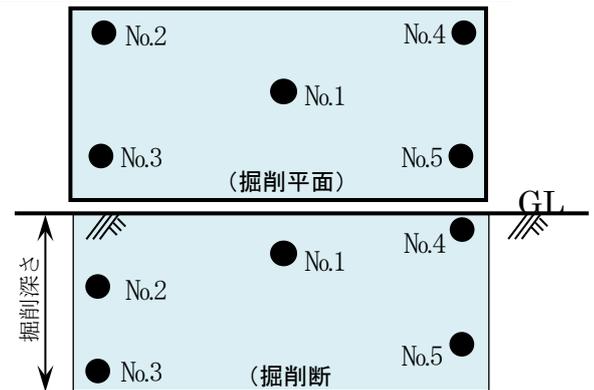
○現場内で偏らないよう5地点採取する。

(掘削断面)

○採取深さは、表土部分から掘削床付け部分まで  
バランス良く採取する。

(例) 掘削深さ5mの場合

GL-0.5m、-1.5m、-3.0m、-4.0m、-5.0m で採取する。

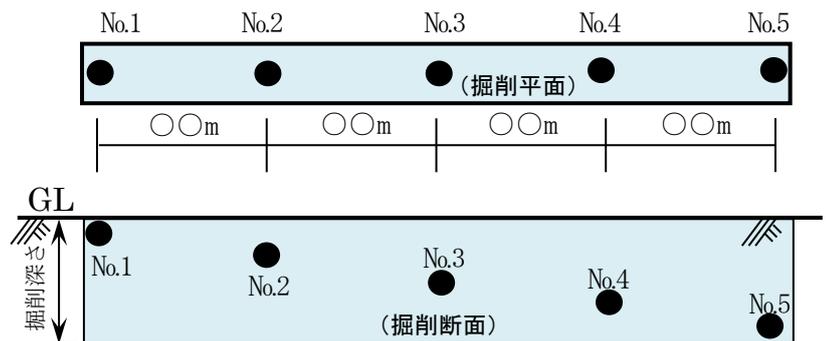


## 【敷地が延長方向に長い場合の試料採取】

(掘削平面)

○延長方向で5地点採取する。

(掘削断面)

○採取深さは、表土部分から掘削床付け  
部分までバランス良く採取する。

※汚染土の可能性のある場合は、検体数を増やす必要がありますので別途ご相談ください。

## 【採取及び写真撮影にあたっての注意事項】

- ① 採取前に路盤を含む舗装や植栽、コンクリートガラなど建設発生土以外のものを除去する。
- ② 上図 No.1～No.5 の各箇所て試料を採取する。
- ③ 試料は各地点において、チャック付ビニール袋 及び遮光性のガラス瓶のそれぞれに採取し、隙間ができないよう密閉する。
- ④ 採取状況写真に用いる黒板の記載事項は、次頁の記入例を参考にしてください。
- ⑤ 上図採取箇所にポールやカラーコーンを立て全体を写真撮影する。
- ⑥ 各試料採取箇所の写真撮影 (採取試料、採取穴及び穴の深さが明確になるように)。
- ⑦ 各試料採取後、1箇所に5箇所分の試料(チャック付ビニール袋5個、ガラス瓶5個)をまとめ、写真撮影をする。
- ⑧ 採取した試料は専門の機関で5試料を混合し、試験を行う。

※試料採取の翌日までの依頼が必須です。

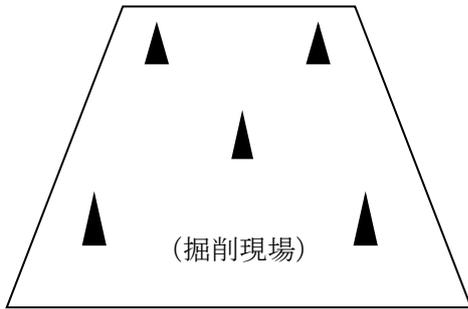
【大磯町大磯港 ダイオキシン類含有濃度試験】 試料採取 (手引き P.15 参照)

- ・100m メッシュごとに1か所(1地点から採取)
- ・原則として、地表面(土層最上面)から5cmの位置から採取すること(採取位置図・写真は不要)

試料採取状況の写真は次の7枚以上が必要です。

### 1 全景写真（1枚以上）

試料採取する全ての地点をカラーコーン等でマーキングし、一括撮影してください。  
 全ての位置が写らない場合は、位置関係が分かるようなるべく複数点を撮影してください。  
 ※採取地点は偏らないように全体に配置してください。

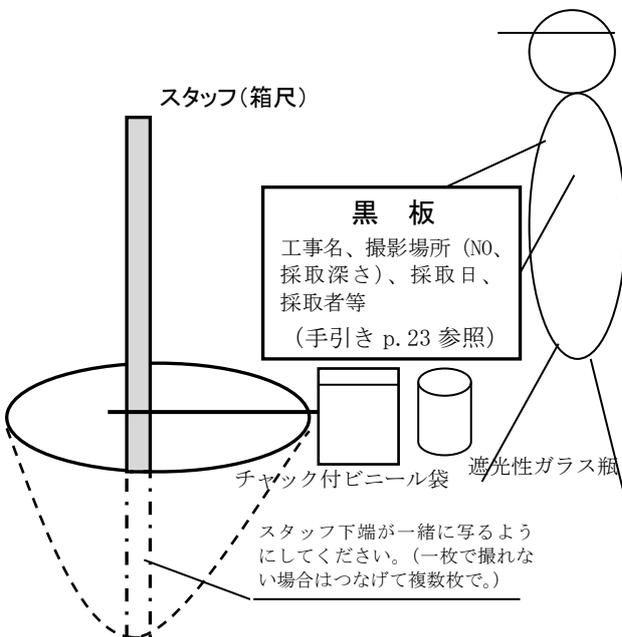


(掘削現場の縦横比が正方形に近い形状の場合)



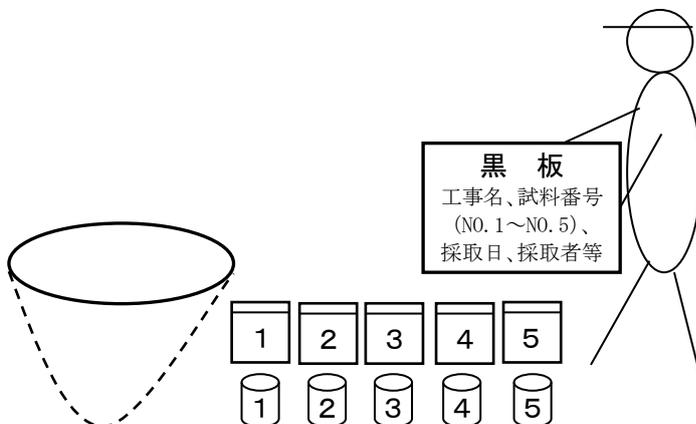
(道路等のように掘削現場の延長が幅より大きい場合)

### 2 試料採取状況写真（各試料採取地点1枚以上）



- ① 採取地点に穴を掘り、所定の深さから試料を採取し、チャック付きビニール袋及び遮光ガラスビンに詰めてください。
  - ② スタッフ（箱尺）等を採取穴の採取位置まで差し込み、地表からの深さが分かるように、地表位置で読みを示してください。
  - ③ 黒板を添え、採取穴の深さが分かるように採取位置（スタッフ下端）及び地表面や採取した試料と一緒に写るように撮影してください。（1枚では写らない場合は2枚以上に分けて撮影してください。）
- ※ ボーリングで採取する場合はロッドの検尺状況を撮影してください。  
 ボーリングで採取した試料は、コア箱に入れて、写真撮影してください。

### 3 採取試料の集合写真（原則、No. 1の地点に5地点の試料を集合し、撮影）



- ① 各地点で採取した試料を1か所に集めてください。
- ② 採取試料全て（チャック付ビニール袋入り試料5、遮光性ガラス瓶入り試料5）を並べて、黒板を添えて撮影します。
- ③ 撮影後、速やかに分析機関へ搬入、分析を依頼してください。

**(試料採取の翌日までの依頼が必須です。)**

※ボーリングで採取した試料も、チャック付ビニール袋及び遮光性ガラス瓶に入れて撮影してください。

## 【大磯港】〈新規申込〉記入例一覧

		土砂搬入申込	記入例 掲載 ページ
		及び発券申請	
		新規	
土砂搬入申込書（様式1）		●	P.7
工事位置図		●	P.8
運搬経路図		●	P.9
土砂搬入計画表（様式2）		●	P.10
分割発券申請予定表（様式3）		○	P.11
発券申請書（様式4）		●	P.12
工事平面図		●	P.13
工事断面図 等		●	P.14
ダイオキシン類含有濃度		●	P.15
土質試験結果		●	P.16
検 体 毎 に 提 出	土砂等発生元証明書（大磯港用）	●	P.17
	検査試料採取調書（様式7-1）	●	P.18
	試料採取位置図（平面図）	●	P.19
	試料採取位置図（断面図）	●	P.20
	地質分析（濃度）結果証明書（様式5-2）	●	P.21
	水素イオン濃度結果証明書（注1）	●	P.22
	試料採取状況写真	●	P.23
	土量計算書	●	P.24
	土量計算用図面（平面図、断面図等）	●	P.25
土量総括表（複数検体の場合）		○	P.26
副申書		●	P.27

●…提出を必須とする書類、○…必要に応じて提出する書類

(注1)：水素イオン濃度証明書の表題は「計量証明書」、「濃度計量証明書」などとし、書式は任意、特に決まりはありません。

# 土砂搬入申込書

〔新規〕第

回変更（土量増、工期延伸 承認番号 \_\_\_\_\_）

㈱建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 東京都港区虎ノ門1-2-3

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎



次のとおり建設発生土の搬入を申し込みます。

なお、搬入中及び搬入後の土砂の中に受け入れ先の品質基準に適合した場合は速やかに撤去します。

小数点第3位以下を四捨五入してください。

搬入先（受入地名）	大磯町大磯港		
発注機関	広域町水道建設事務所		
工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事		
工事場所	広域町大字利用		
契約工期	当初・変更前	2000年6月1日	～ 2000年2月15日
	変更後	～ 年 月 日	
搬入申込土量 （地山）	当初・変更前	2,000.00 m <sup>3</sup>	
	変更後	m <sup>3</sup>	差引増 m <sup>3</sup>
土質	第3種建設発生土（ローム）	平均単位体積重量（地山）	1.8 t/m <sup>3</sup>
汚染要因となる環境項目への該当	<input type="checkbox"/> 工場・病院跡地など汚染の恐れがある地域 <input type="checkbox"/> 法令に基づく届け出、調査を行った地域 <input checked="" type="checkbox"/> 上記項目には該当しない地域		
工事請負者担当者（氏名）	建設 次郎		
※2	（電話）	000-000-0000	（携帯） 000-0000-0000 （FAX） 000-000-0000

チェックを忘れずに

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関（所属） 広域町水道建設事務所 ○○課

監督員（氏名） 上水 道男

（電話） 000-000-0000 （FAX） 000-000-0000

### 注意

- 承認番号は変更の場合のみご記入下さい。
- 平均単位体積重量（地山）は1.8 t/m<sup>3</sup>とします。ください。
- 汚染要因となる環境項目への該当は該当箇所にチェックマークをご記入ください。
- 発注機関監督員の印は発注元が公共機関（国、地方公共団体、それらの関係機関）の場合は必ず記入・押印してください。

建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者及び発注機関監督員の印は省略します。

※1 添付書類はUCR受入地利用案内及びHP掲載の提出書類一覧表にてご確認ください。

※2 工事請負者担当者は事故発生時等の際にUCRへ報告してください。

備考	工事発生リスト箇所番号【 _____ 】	承認印	年 月 日

## 工事位置図

(施工場所の案内図) (図の縮尺は任意)

## 運 搬 経 路 図

施工場所から「大磯港」までの経路を示してください。

(大磯町大磯港：神奈川県中郡大磯町大磯1398-3)

(図の縮尺は任意)

# 土 砂 搬 入 計 画 表

1 工 事 名 水23号 広域町水道送水管敷設工事

2 工 事 請 負 者 首都圏建設株式会社

3 土砂搬入予定期間 2000 年 7 月 4 日 ~ 2000 年 11 月 12 日

搬入完了予定日は、契約工期以降に設定することはできません。

4 搬入申込土量 2,000.00 m<sup>3</sup>、ダンプ総台数 380 台 ( 10 t車)

5 搬入予定

・各月の土量は5.27m<sup>3</sup>(10t車、1.8t/m<sup>3</sup>の場合)の倍数とし、最終搬出月に調整してください。  
 ・搬出がない月が間にある場合は詰めて記載してください。  
 ・ダンプの積載量毎(10t、4t、……)に表を作成してください。

① 00 年 7 月分 土量 421.60 m<sup>3</sup>/月、平均土量 21.08 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			○	○	○	○				○	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○	○				○

② 00 年 8 月分 土量 379.44 m<sup>3</sup>/月、平均土量 21.08 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
○	○	○	○	○			○	○	○	○										○	○	○	○				○	○	○	○

③ 00 年 9 月分 土量 421.60 m<sup>3</sup>/月、平均土量 21.08 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
○			○	○	○	○	○				○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○	○	

④ 00 年 10 月分 土量 632.40 m<sup>3</sup>/月、平均土量 31.62 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 6 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	○	○	○	○	○					○	○	○	○			○	○	○	○			○	○	○	○				○	

⑤ 00 年 11 月分 土量 144.96 m<sup>3</sup>/月、平均土量 21.08 m<sup>3</sup>/日、ダンプ延 4 台/日

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
○	○					○	○	○																						

⑥ 年 月分 土量

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																					
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

・各月のダンプの延台数を足したものがダンプ総台数になるようにしてください。  
 ・各月の土量の合計が搬入申込土量になるようにしてください。  
 ・日当たりダンプ延台数×積載土量=日当たり平均土量  
 ・日当たり平均土量×月当たり稼働(作業)日数=月当たり土量

発券を分割で申請する場合のみ提出してください。

## 分割発券申請予定表

1 工 事 名 水 2 3 号 広域町水道送水管敷工事

2 工 事 請 負 者 首都圏建設株式会社

3 搬 入 申 込 土 量 2,000.00 m<sup>3</sup>

4 分割申請回数及び発券土量等

申請回数	申請予定日	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b)×(c)	発券土量の合計 ( )は累計土量
第 1 回	6 月 22 日	10 t 車券	217 枚	5.27 m <sup>3</sup>	1,143.59 m <sup>3</sup>	1,143.59 m <sup>3</sup>
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
第 2 回	8 月 15 日	10 t 車券	163 枚	5.27 m <sup>3</sup>	859.01 m <sup>3</sup>	859.01 m <sup>3</sup> ( 2,002.60 m <sup>3</sup> )
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
第 回	月 日	t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
第 回	月 日	t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	( m <sup>3</sup> )
合計		10 t 車券	380 枚	5.27 m <sup>3</sup>	2,002.60 m <sup>3</sup>	2,002.60 m <sup>3</sup>
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
		t 車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	

注意

1) 当書類は発券を分割で申請する場合にのみご提出ください。発券申

搬入申込土量÷積載土量  
(端数切上)

2) 積載土量(地山)は使用車輛のトン数を平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。

(例) 平均単位体積重量が1.8 t/m<sup>3</sup>の場合 10 t 車…5.27m<sup>3</sup>、4 t 車…2.22m<sup>3</sup>、3 t 車…1.66m<sup>3</sup>、2 t 車…1.11m<sup>3</sup>

(記入例)

2000 年 00 月 00 日

# 発券申請書 (第 1 回)

[承認番号 \_\_\_\_\_]

(株)建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 東京都港区虎ノ門1-2-3

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎 (印)

次のとおり土砂搬入管理券の発券を申

搬入先 (受入地名)	大磯町大磯				
発注機関	広域町水道				
工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事				
搬入申込土量	2,000.00 m <sup>3</sup>				
既発券土量	0.00 m <sup>3</sup> (a)				
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 (d)
	10 t 車券	217 枚	5.27 m <sup>3</sup>	1,143.59 m <sup>3</sup>	1,143.59 m <sup>3</sup>
発券土量の合計 × 受入単価 = 税抜金額 (1円未満切捨て)					
受入単価	昼 / 夜	(地山 1 m <sup>3</sup> 当たり)			5,250 円
支払金額	金額 (税抜)	消費税 (10%)	合計金額 (税込)		
	受入金額	600,384 円	60,384 円	6,604,231 円	
	基本料金 (第1回目のみ)	10,000 円	1,000 円	11,000 円	
合計	6,013,847 円	601,384 円	6,615,231 円		
支払予定日	○ 月 ○ 日				
累計発券土量	1,143.59 m <sup>3</sup> (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	10 枚				
備考欄					
工事請負者担当者 (氏名)	税抜金額 × 0.10 (消費税率) = 消費税額 (1円未満切捨て)				00-0000-0000
入金案内送付先 (FAX)	000-000-0000 (宛名) 首都圏建設(株)〇〇作業所				

パターン1: 一括発券 (支払) 申請の場合  
 搬入申込土量 ÷ 積載土量 = 発券枚数 (端数切上)  
 $2,000\text{m}^3 \div 5.27 = 379.5 \Rightarrow 380\text{枚}$

パターン2: 分割発券 (支払) 申請の場合  
 分割発券申請予定表より算出してください。  
 ※この例は分割発券 (支払) です。(下記表示はパターン2)

注意

- 1) 受入地通行証は、ダンプ1台につき1枚必要となります。土砂運搬に使用するダンプ台数分 (+αも可)
- 2) (例) 10 t 車...5.27m<sup>3</sup>, 4 t 車...2.22m<sup>3</sup>, 3 t 車...1.66m<sup>3</sup>, 2 t 車...1.11m<sup>3</sup>
- 3) 10 t 車...6.32m<sup>3</sup>, 4 t 車...2.66m<sup>3</sup>, 3 t 車...1.99m<sup>3</sup>, 2 t 車...1.33m<sup>3</sup>

平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。  
 合にご記入ください。  
 ※ いください。なお、基本料金は返金いたしません。

税抜金額 + 消費税額 = 支払金額

※ 添付書類は UCR 受入地利用案内及び H P

建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者の印は省略します。

備考	工事発生リスト箇所番号【	承認
----	--------------	----

## 工事平面図

(工事平面図、掘削範囲を確認できる図面)

## 工事断面図

(断面図、縦断図、構造図など、掘削範囲、掘削深が判別できる図面)

## ダイオキシン類含有濃度

### 特定濃度計量証明書（ダイオキシン類含有濃度）

試験は、「特定計量証明事業者認定制度」に基づき認定された専門の機関が試料採取から分析まで実施してください。

結果証明は、「特定濃度計量証明書」または分析結果証明書に「特定計量証明事業者認定証の写し」を添付してください。

#### 〈試料採取・ダイオキシン類含有濃度試験〉

- ・採取箇所は原則として100mメッシュごとに1か所(1地点から採取)。  
100mメッシュに満たない場合でも1か所採取すること。
- ・原則として地表面（土層最上面）から5cmの位置から採取すること
- ・採取位置図及び写真は不要

## 土質試験結果

次の資料のいずれかを提出してください

- ・ボーリング柱状図（N 値 6.4 以上）
- ・締め固めた土のコーン指数試験
- ・ポータブルコーン（コーン・ペネトロメーター）貫入試験

〈 記入例 〉

# 土砂等発生元証明書

年 月 日

特定事業者名

空欄(何も記入しないでください) 様

発生元事業者

住 所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

事業者名 株式会社 ○○○○

代表者 代表取締役 ○○ ○○ 印

現場責任者 現場代理人 ○○ ○○ 印

電話番号 ○○○-○○○○-○○○○

次のとおり搬出する土砂等が次の工事現場から発生し、又は採取された土砂等であることを証明します。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 2 条第 1 項に規定する廃棄物ではありません。

工 事 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
工事施工場所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
発 注 者	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
工事施工期間	○○○○○○○~○○○○○○○
当該工事に係る土砂等発生総量	○,○○○.○○ m <sup>3</sup> （うち搬出契約量 ○,○○○.○○m <sup>3</sup> ）
今回の証明に係る土砂等の量	○,○○○.○○ m <sup>3</sup> （5, 0 0 0 m <sup>3</sup> 以内）
発生土砂等の地質分析（濃度）結果証明書の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 別紙のとおり
発生土砂等の区分	第○種建設発生土
発生土砂等運搬契約者名	（現場から大磯港まで土砂を運搬する会社の住所・氏名を記入） 住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 氏名 ○○○○○○○○ 住所 神奈川県平塚市馬入大道下 2196 氏名 湘南総合企画株式会社 住所 空欄 氏名 空欄 住所 空欄 氏名 空欄
発生土砂等埋立事業者名	（一時たい積特定事業場） 住所 空欄(何も記入しないでください) 氏名 // （埋立て等の事業場） 住所 空欄(何も記入しないでください) 氏名 //

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第 1 に規定する区分を記載すること。

〈 記入例 〉

第三号様式（第四条第二項第十二号及び第五項第四号、第八条第三項並びに第十二条第一項第二号及び第三号並びに第二項）

検査試料採取調書

年 月 日

採取者

住 所

所 属

職氏名

連絡先電話

採取された方の所属、氏名、連絡先を記入し、必ず採取者所属の会社印と職・氏名・印をお願いします。  
(スタンプタイプ等の簡易印鑑は不可)

〇〇〇〇 〇〇 〇〇 (印)

0※0-1234-5678

別添地質分析（濃度）結果証明書（排水汚染状況測定（濃度）結果証明書）の検査試料を次のとおり採取しました。

検体区分及び番号	123456-A	「地質分析(濃度)結果証明書」の検体区分・番号を転記してください
報告区分	地質（表土・ <b>搬入</b> 定期・廃止・完了・終了） 排水（定期・廃止・完了・終了）	
採取年月日	20〇〇年〇月〇日	原則として、採取日の翌日までに分析機関に依頼してください。
採取日の天候	晴れ	
地質分析の場合の採取深度	No.1 GL-0.5m No.2 GL-0.7m No.3 GL-0.9m No.4 GL-1.1m No.5 GL-1.3m	

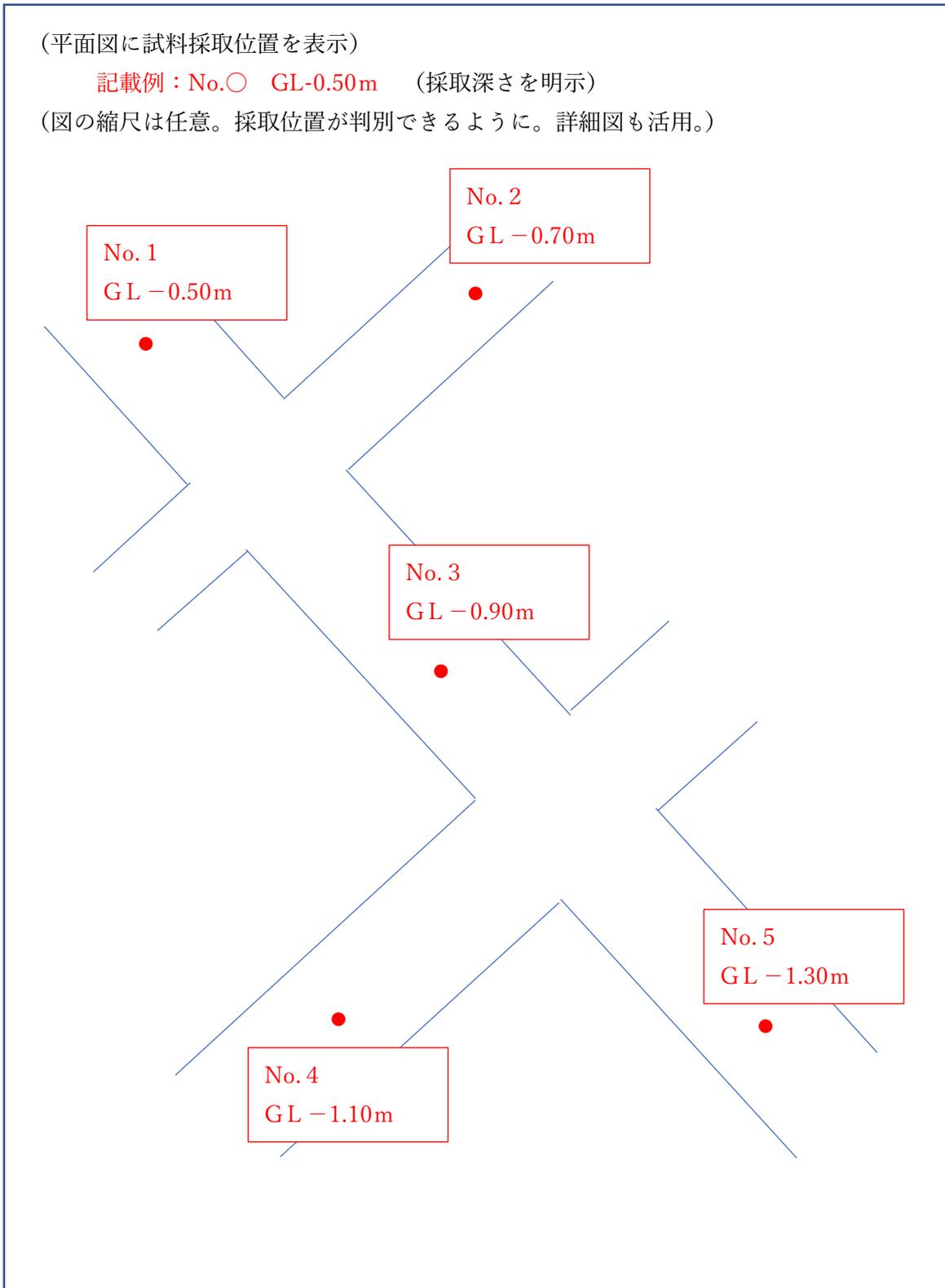
注 検体区分の欄には、この調書に係る地質分析（濃度）結果証明書、排水汚染状況測定（濃度）結果証明書に記載された番号等を記載すること。

## 試料採取位置図(平面図)

(平面図に試料採取位置を表示)

記載例：No.○ GL-0.50m (採取深さを明示)

(図の縮尺は任意。採取位置が判別できるように。詳細図も活用。)



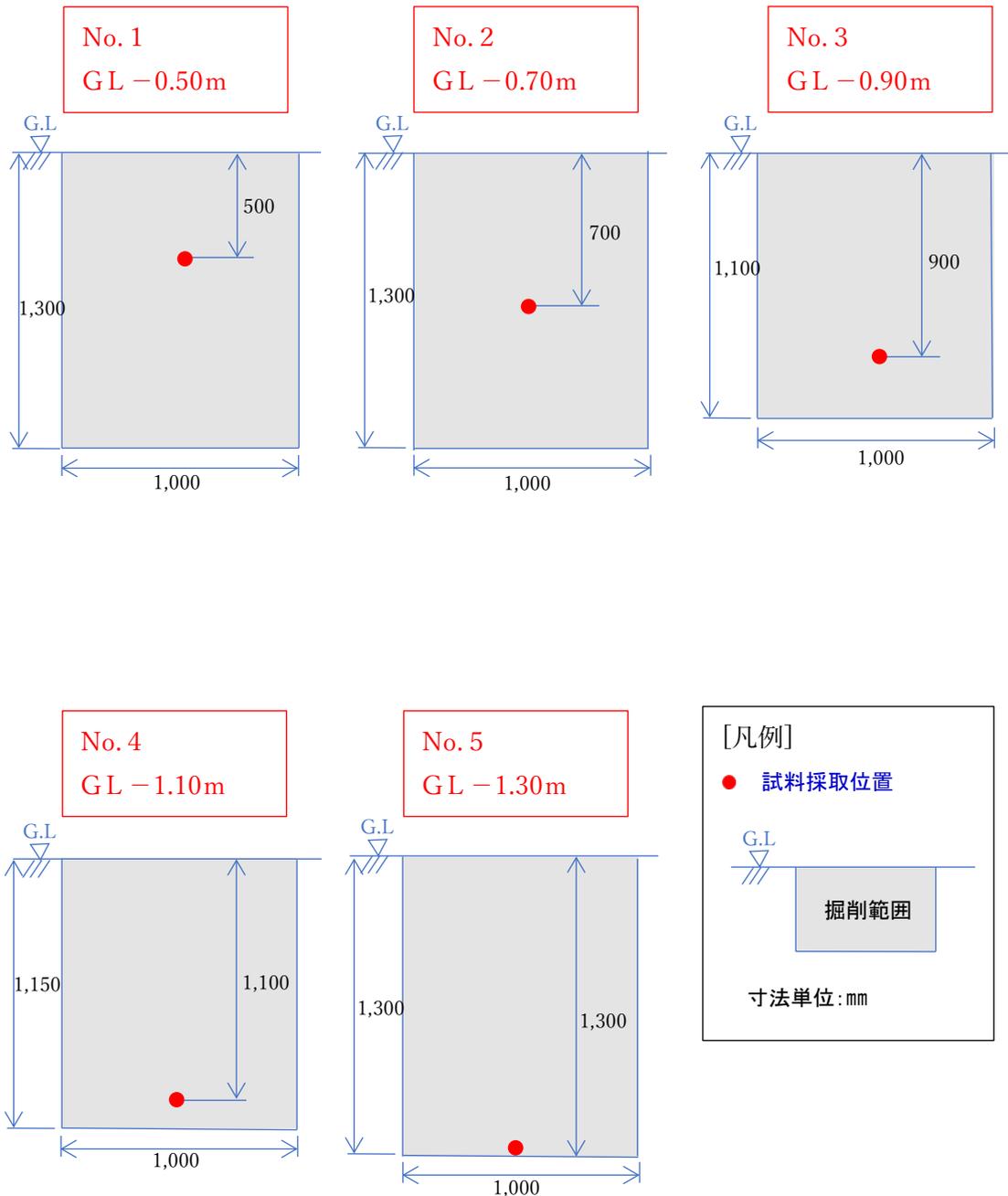
## 試料採取位置図(断面図)

(試料採取位置ごとに断面図を表示)

(図の縮尺は任意。採取位置が判別できるように。掘削範囲(深)も表示してください。)

(試料採取位置図(平面図)と同じ図面にそれぞれの断面図を表示することも可)

記入例



## 地質分析（濃度）結果証明書

年 月 日

様

発行番号 記入してください

分析機関名

代表者 (印)

在 地

電話番号

計量証明事業者の登録番号

環境計量士 (印)

発生事業者名  
= 工事請負業者名  
= 申込者名

試料採取日  
または翌日

年 月 日に依頼のあった検体について、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により  
検液を作成し、計量した結果を次のとおり証明します。 (検体区分・番号 記入してください)

計量の対象	単位	測定値	定量 下限値	基準値	測定方法		
カドミウム	mg/l			0.003	測定方法 「土壌の汚染に係る環境基準について」 (平成3年8月23日環境庁告示第46号付表)		
全シアン	mg/l			不検出			
有機燐	mg/l			不検出			
鉛	mg/l			0.01			
六価クロム	mg/l			0.05			
砒(ひ)素	mg/l			0.01			
総水銀	mg/l			0.0005	この欄には、実際の測定方法を記載してください		
アルキル水銀	mg/l			不検出			
P C B	mg/l			不検出	地質分析試験項目の各基準値の 8割までを受入可とします。		
ジクロロメタン	mg/l			0.02			
四塩化炭素	mg/l			0.002			
クロロエチレン	mg/l			0.002			
1,2-ジクロロエタン	mg/l			0.004			
1,1-ジクロロエチレン	mg/l			0.1			
1,2-ジクロロエチレン	mg/l			0.04			
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l			1			
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l			0.006	地質分析試験の有効期限は 試料採取日から 6か月間 とします。		
トリクロロエチレン	mg/l			0.01			
テトラクロロエチレン	mg/l						
1,3-ジクロロプロパン	mg/l						
チウラム	mg/l				備考欄に記載する各項目は、 土砂等発生元証明書の記載と同一にしてください		
シマジン	mg/l			0.003			
チオベンカルブ	mg/l			0.02			
ベンゼン	mg/l			0.01			
セレン	mg/l			0.01			
ふっ素	mg/l			0.8			
ほう素	mg/l			1			
1,4-ジオキサン	mg/l			0.05			
農用地田 に限る	砒素	mg/kg		15		昭和50.総令第31号第1条第3項及び第2条	含有 試験
	銅	mg/kg		125		昭和47.総令第66号第1条第3項及び第2条	
検体の性状	形状			色	におい		
備考	発生場所： 発生事業者名：		工事名：				

\* 計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行われた場合の当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び

\* 事業者の所在地：

## 水素イオン濃度結果証明書

水素イオン濃度の結果のみを記載します。

（溶出量試験（28 項目）及び含有量試験（2 項目）の結果と別紙にします。）

様式は任意。

表題は「計量証明書」「濃度計量証明書」「水素イオン濃度結果証明書」等とします。

## 試料採取状況写真

(写真のサイズ等、任意。文字、数字等が判別できる鮮明な写真を貼付すること)

(写真)

写真○ \_\_\_\_\_

全景写真 \_\_\_\_\_

○○○○○○ \_\_\_\_\_

○○○○○○ \_\_\_\_\_

(写真)

写真○ \_\_\_\_\_

○○○○○○ \_\_\_\_\_

○○○○○○ \_\_\_\_\_

### 地質分析(濃度)試験試料採取状況写真用黒板記入例

工 事 件 名	○○○○○工事	
試料採取場所	No.1 GL-3.5m	
地質分析(濃度)試験試料採取状況		
試料採取者	○○○○調査会社(株)	
	氏名 ○○ ○○	
採取年月日	令和○○年○○月○○日	
施 工 業 者	(株)○○○○建設	
	立会人	現場代理人 ○○ ○○

○写真はカラー写真。

○検査試料採取調書と連動します。

○工事名、採取場所、採取深度などが分かるように。

○深さは地盤高さ(G.L)からの下がりとします。

採取日の当日又は翌日までに専門機関に分析を依頼してください。

# 土量計算書

## 注意事項

### 土量計算書〈大磯港〉

□ 土量計算書は最終受入地の自治体で定めた土砂条例の申請に必要な書類です。土量計算書については、条例の申請窓口で、チェックを受けます。図面と計算採用数字の整合、計算過程及び計算結果が正しくなっていることを細かく確認してください。

□ 土量計算書は、簡潔にしてください。

計算式、計算結果は必ずチェックを受けます。

数値基準(表示数位、四捨五入など)は統一してください。

計算に使用する数字は、引用元(根拠)がわかるよう必ず図面や計算式等で確認できるようにしてください。

断面積について：複雑な断面の場合、面積計算ソフト(アプリ)などを活用し、簡潔に算出することも可。その場合は、「No.1 断面積は、CAD により算出」などと注釈を記載してください。

□ 表などで、合計を求める場合は、連続計算に注意してください。

No.	断面積(m <sup>2</sup> )	延長(m)	土量(m <sup>3</sup> )
1	38.59	0.96	37.05
2	15.73	1.89	29.73
3	26.31	2.35	61.83
計			<del>128.60</del>

(例)No.1  $38.59 \times 0.96 = 37.0464$   
 小数第 3 位を四捨五入  
 $\Rightarrow 37.05$   
 $\Rightarrow 128.61$

土量の欄は、断面積×延長の計算結果(第 3 位を四捨五入)

計の欄は、連続計算  $38.59 \times 0.96 + 15.73 \times 1.89 + 26.31 \times 2.35$  で求めない。

( $= 37.0464 + 29.7297 + 61.8285 = 128.6046 \Rightarrow 128.60 \Rightarrow$ 誤)

各 No.の計算結果を四捨五入した数字の和  $37.05 + 29.73 + 61.83 = 128.61$  と表示することが正となります。

### 土量計算書結果と搬入申込土量

□ 土量計算書で算出した数量が、搬入申込土量となります。検体が複数ある場合や土量計算書が複数ある場合は、まとめの表(総括表)を別途作成してください。

□ 工事後の搬出土量は、設計量と異なる場合がありますので、土量計算書で算出された量をあらかじめ割り増しすることも認められています。

採用できる割増率の範囲は0~20%となっています。どの数字を採用するかは、申込者の判断となります。(0%=割増なしとしていただくことも可能です。)

土量計算書の算出結果(土量)A m<sup>3</sup>⇒割増採用⇒A×割増率(1.0~1.2)⇒搬入申込土量  
 (なお、申請にあたり、発注者の確認が必要となりますので、発注者の理解を得てください。工事完了後は精算できます。未使用の土砂搬入管理券がある場合は、精算により返金しております。「増量変更」は新規と同じ手続きとなります。そのため申請者にとっては「精算」のほうが手続きは「増量変更」より簡単となります。)

## 土量計算用図面

土量計算で使用した数字の引用元がわかる図面とすること（平面図、断面図、縦断図、構造図など）

計算に引用した数字(距離、寸法等)は寸法線(引き出し線)等を用い表示すること

## 土量総括表

検体毎、それぞれの土量計算結果をまとめます。  
まとめた総計が申込土量と一致します。

(記入例)

検体 No.	搬出土量(m <sup>3</sup> 地山)
No.1	3,500.00 m <sup>3</sup>
No.2	2,800.00 m <sup>3</sup>
計	6,300.00 m <sup>3</sup>

# 副 申 書

( 新 規 ) ・ 変 更 )

〇〇 地区建設発生土連絡協議会長  
(神奈川県 〇〇土木事務所長) 殿

(工事監督主管課長)

広域町水道建設事務所

〇〇 〇〇

次の建設発生土は、貴所協定の受入地の受入基準に適合しているものであると認められるので、土砂受入地として指定したことを副申いたします。

ついては、土砂搬入の申込手続きについて、よろしく申し上げます。

工 事 名	水 23 号 広域町水道送水管敷設工事		
路線・河川・区域名	町道〇〇線		
工 事 場 所	広域町大字利用		
工 事 請 負 者	首都圏建設(株)〇〇作業所		
土 砂 検 定 の 結 果	別添、土砂検定結果該当工事管理表検定実施工事の地質分析結果証明書により良好。		
建設発生土搬入土量	当 初	地 山	2000 m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>
	変 更 後	地 山	m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>
	差引増減	地 山	m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>

## 【大磯港】〈変更〉記入例一覧

	変 更		分割発券 申請2回目 以降	記入例 掲載 ページ
	土量 増量	工期 延伸		
土砂搬入申込書（様式1）	●	●		<b>P.29</b>
工事位置図				(P.8)
運搬経路図				(P.9)
土砂搬入計画表（様式2）	●	●	○	(P.10)
分割発券申請予定表（様式3）	○		○	(P.11)
発券申請書（様式4）	●		●	<b>P.30</b>
工事平面図	○			(P.13)
工事断面図 等	○			(P.14)
ダイオキシン類含有濃度	○			(P.15)
土質試験結果	○			(P.16)
検 体 毎 に 提 出	土砂等発生元証明書（大磯港用）	●	●	<b>P.31</b>
	検査試料採取調書（様式7-1）	○		(P.18)
	試料採取位置図（平面図）	○		(P.19)
	試料採取位置図（断面図）	○		(P.20)
	地質分析（濃度）結果証明書（様式5-2）	○		(P.21)
	水素イオン濃度結果証明書（注1）	○		(P.22)
	試料採取状況写真	○		(P.23)
	土量計算書	●		(P.24)
土量計算用図面（平面図、断面図等）	●		(P.25)	
土量総括表（複数検体の場合）	○			(P.26)
工期・土量変更証明書（様式8）	●	●		<b>P.32</b>
副申書	●			<b>P.33</b>

●…提出を必須とする書類、○…必要に応じて提出する書類



(記入例)

2000 年 00 月 00 日

# 発券申請書 (第 3 回)

[承認番号 000-99-1234]

(株)建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 東京都港区虎ノ門1-2-3

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎



次のとおり土砂搬入管理券の発券を申請します。

搬入先 (受入地名)	大磯町大磯港				
発注機関	広域町水				
工事名	水23号 広域町水運込水官敷工				
搬入申込土量	3,000.00 m <sup>3</sup>				
既発券土量	2,002.60 m <sup>3</sup> (a)				
今回発券枚数 及び発券土量	券種	発券枚数 (b)	積載土量 (c)	発券土量 (b) × (c)	発券土量の合計 (d)
	10 t 車券	190 枚	5.27 m <sup>3</sup>	1,001.30 m <sup>3</sup>	1,001.30 m <sup>3</sup>
$\text{搬入申込土量(変更後)} - \text{既発券土量} \div \text{積載土量} = \text{発券土量(端数切上)}$ $(3,000\text{m}^3 - 2002.60\text{m}^3) \div 5.27 = 189.2\cdots \Rightarrow 190\text{枚}$					
$\text{発券土量の合計} \times \text{受入単価} = \text{税抜金額(1円未満切捨て)}$					
受入単価	昼 / 夜	(地山 1 m <sup>3</sup> 当たり) 5,250 円			
支払金額	金額 (税抜)	5,256,825 円	消費税 (10%)	525,682 円	合計金額 (税込)
	受入金額	5,256,825 円	525,682 円	5,782,507 円	
	基本料金 (第1回目のみ)	0 円	0 円	0 円	
$\text{既発券土量} + \text{今回発券土量の合計} = \text{累計発券土量}$					
累計発券土量	3,003.90 m <sup>3</sup> (a) + (d)				
受入地通行証必要枚数	3 枚				
備考欄					
工事請負者担当者 入金案内送付先	(氏名) (FAX)	税抜金額 × 0.10 (消費税率) = 消費税額 (1円未満切捨て)			000-0000-0000

追加で必要な場合のみ記入ください。

場合にご記入ください。

税抜金額 + 消費税額 = 支払金額

を平均単位体積重量で除し、小数第三位以下を切り捨てた数量とします。  
 (例) 平均単位体積重量が 1.8 t/m<sup>3</sup> の場合 10 t 車…5.27m<sup>3</sup>、4 t 車…2.22m<sup>3</sup>、3 t 車…1.66m<sup>3</sup>、2 t 車…1.11m<sup>3</sup>  
 (横須賀市久里浜港の場合、ほぐし土量で 10 t 車…6.32m<sup>3</sup>、4 t 車…2.66m<sup>3</sup>、3 t 車…1.99m<sup>3</sup>、2 t 車…1.33m<sup>3</sup>)  
 3) 基本料金は新規申込時 (第1回) にお支払いください。なお、基本料金は返金いたしません。

※ 添付書類は UCR 受入地利用案内及び H P

建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者の印は省略します。

備考	工事発生リスト箇所番号【	承認
----	--------------	----

変更〈記入例〉

# 土砂等発生元証明書

年 月 日

特定事業者名

空欄(何も記入しないでください) 様

発生元事業者

住 所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

事業者名 株式会社 ○○○○

代表者 代表取締役 ○○ ○○ 印

現場責任者 現場代理人 ○○ ○○ 印

電話番号 ○○○-○○○○-○○○○

次のとおり搬出する土砂等が次の工事現場から発生し、又は採取された土砂等であることを証明します。

なお、これらの土砂等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 2 条第 1 項に規定する廃棄物ではありません。

工 事 名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
工事施工場所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
発 注 者	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
工事施工期間	○○○○○○○～○○○○○○○(工期延伸の場合は延伸後の工期を記入)
当該工事に係る土砂等発生総量	(増量後の総土量を記載) ○,○○○.○○ m <sup>3</sup> (うち搬出契約量 ○,○○○.○○m <sup>3</sup> )
今回の証明に係る土砂等の量	(増量後の総土量を記載) ○,○○○.○○m <sup>3</sup> (5, 0 0 0 m <sup>3</sup> 以内)
発生土砂等の地質分析（濃度）結果証明書の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 別紙のとおり
発生土砂等の区分	第○種建設発生土
発生土砂等運搬契約者名	(現場から大磯港まで土砂を運搬する会社の住所・氏名を記入) 住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○氏名 ○○○○○○○○ 住所 神奈川県平塚市馬入大道下 2196 氏名 湘南総合企画株式会社 住所 空欄 氏名 空欄 住所 空欄 氏名 空欄
発生土砂等埋立事業者名	(一時たい積特定事業場) 住所 空欄(何も記入しないでください) 氏名 // (埋立て等の事業場) 住所 空欄(何も記入しないでください) 氏名 //

注 発生土砂等の区分の欄には、建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令別表第 1 に規定する区分を記載すること。

## 工期・発生土量の変更に伴う証明書

工 事 名： 水 2 3 号 広域町水道送水管敷設工事

路線・河川・区域名：

工 事 場 所： ○○県○○市広域町○○

上記の工事について、( **工事延長の増等** ) の理由から、工期を 2000 年 ○ 月 ○ 日まで延伸し、発生土量を ( ○○○ ) m<sup>3</sup> から ( **△△△** ) m<sup>3</sup> に変更したことに相違ありません。

発注機関 (所属・役職)

所 属 **広域町水道建設事務所**

担当者名 ○ ○ ○ ○

印

発生元事業者

事業者名 **首都圏建設株式会社**

代表者名 **代表取締役 首都圏 太郎**

印

# 副 申 書

( 新 規 ・ 変 更 )

〇〇 地区建設発生土連絡協議会長  
(神奈川県 〇〇土木事務所長) 殿

(工事監督主管課長)

広域町水道建設事務所

〇〇 〇〇

次の建設発生土は、貴所協定の受入地の受入基準に適合しているものであると認められるので、土砂受入地として指定したことを副申いたします。

については、土砂搬入の申込手続きについて、よろしく申し上げます。

工 事 名	水 23 号 広域町水道送水管敷設工事		
路線・河川・区域名	町道〇〇線		
工 事 場 所	広域町大字利用		
工 事 請 負 者	首都圏建設(株)〇〇作業所		
土 砂 検 定 の 結 果	別添、土砂検定結果該当工事管理表検定実施工事の地質分析結果証明書により良好。		
建設発生土搬入土量	当 初	地 山	2000 m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>
	変 更 後	地 山	3000 m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>
	差引増減	地 山	1000 m <sup>3</sup>
		ほぐし	— m <sup>3</sup>

## 【大磯港】〈完了〉記入例一覧

	完了		記入例 掲載 ページ
	全量 搬入	減量 搬入	
土砂搬入完了精算書（様式9）		●	P.35
土砂搬入完了届（様式10）	●※		P.36
土砂搬入完了確認依頼書（様式11）		○	P.37
副申書		○	(P.33)

●…提出を必須とする書類、○…必要に応じて提出する書類

●※…(土砂搬入完了届)または(土砂搬入完了確認依頼書)のどちらか一方の書類提出

土砂搬入完了確認依頼書とは

土砂搬入が完了したことを証する「土砂搬入完了確認書」が必要な場合  
提出する書類です。

土砂搬入完了確認書（見本）

<b>見 本</b>	2000年00月00日
<b>土 砂 搬 入 完 了 確 認 書</b>	
首都圏建設株式会社 御中	
株式会社 建設資源広域利用センター	
次の工事のUCR受入地への土砂の搬入は、下記のとおり完了したことを確認します。	
1. UCR承諾番号	神-123456号
2. 発注機関	広域町水道建設事務所
3. 工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事
4. 工事場所	広域町大字利用
記	
搬入受入地	大磯町大磯港
搬入土量	申込土量 2,000.00 m <sup>3</sup>
	完了土量(券換算) 1,881.45 m <sup>3</sup>
土砂搬入期間	自 2000年7月4日 至 2000年11月8日

(記入例)

2000 年 00 月 00 日

# 土砂搬入完了精算書

[承認番号 000-99-1234]

インボイス登録番号を記入してください。

(株)建設資源広域利用セ

申込土量より搬入土量が少ない場合は、必ず提出してください。  
・未使用券がある場合  
・設計変更により搬入土量が減となった場合

登録番号 T1234567891234

門1-2-3

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎



使用枚数+返却券枚数=発券枚数となります。

次のとおり土砂搬入が完了し搬入完了土量が搬入申込土量を下回ったので届け出ます。

搬入先(受入地名)	大磯町大磯港				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事				
搬入申込土量	3,000.00 m <sup>3</sup>				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t車券	530 枚	5.27 m <sup>3</sup>	2,793.10 m <sup>3</sup>	2,793.10 m <sup>3</sup>
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	

上記に伴う受入料金の還付を下記のとおり申請します。

未使用返却券枚数 及び返却券土量	券種	返却券枚数	積載土量	返却券土量	返却券土量の合計
	10 t車券	40 枚	5.27 m <sup>3</sup>	210.80 m <sup>3</sup>	210.80 m <sup>3</sup>
返却券土量の合計×受入単価=税抜金額(1円未満切捨て)					210.80 m <sup>3</sup>
受入単価	昼 / 夜	(地山 1 m <sup>3</sup> 当たり)		5,250 円	
還付金額	(税抜)				1,106,700 円
	税率: 10%				110,670 円
	(税込)				1,217,370 円
還付先	金融機関・支店名	口座名義人(フリガナ)	科目	口座番号	
	〇〇 支店	首都圏建設株式会社	普通	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
備考欄	税抜金額×0.10(消費税率)=消費税額(1円未満切捨て)				
工事請負者担当者	(氏名) 建設 次郎	(携帯) 000-0000-0000			
	(電話) 000-000-0000	税抜金額+消費税額=税込金額(還付金額)			

上記のとおり相違ないことを申し添えます。

発注機関	(所属) 広域町水道建設事務所 〇〇課	所屬課名も記入してください。
監督員	(氏名) 上水 道男	
	(電話) 000-000-0000 (FAX) 000-000-0000	

注意 1) 備考欄は工事請負者と払戻先口座名義人が異なるときに双方の関係をご記入ください。  
2) (株)建設資源広域利用センター 登録番号

備考	工事発生リスト箇所番号【	建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者及び発注機関監督員の印は省略します。
----	--------------	---

# 土砂搬入完了届

[承諾番号 000-99-1234]

(株)建設資源広域利用センター 御中

工事請負者 住 所 東京都港区虎ノ門1-2-3  
 法人名 首都圏建設株式会社  
 代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎  
 現場代理人 氏 名 建設 次郎



次のとおり搬入申込土量全量の搬入が完了したので届け出ます。

搬入先(受入地名)	大磯町大磯港
発注機関	広域町水道建設事務所
工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事
搬入申込土量	3,000.00 m <sup>3</sup>
搬入完了土量	上記搬入申込土量のとおり
備考欄	
工事請負者担当者 (氏名) 建設 次郎 (電話) 000-000-000	

建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者の印は省略します。

注意

1) 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。

※ 土砂搬入完了精算書や土砂搬入完了確認依頼書を提出する場合は当書類(土砂搬入完了届)の提出は不要です。

**土砂搬入完了届が必要な場合は  
は下表のとおり。**

完了時・UCRへの提出書類

完了時の搬入土量	土砂搬入完了確認書	
	必要	不要
申込土量の全量を搬入	<input type="checkbox"/> 土砂搬入完了確認依頼書 <input type="checkbox"/> 受入地通行証(返却)	<input type="checkbox"/> 土砂搬入完了届 <input type="checkbox"/> 受入地通行証(返却)
申込土量から減量して搬入	<input type="checkbox"/> 土砂搬入完了精算書 <input type="checkbox"/> 土砂搬入完了確認依頼書 <input type="checkbox"/> (未使用)土砂搬入管理券 <input type="checkbox"/> 受入地通行証(返却)	<input type="checkbox"/> 土砂搬入完了精算書 <input type="checkbox"/> (未使用)土砂搬入管理券 <input type="checkbox"/> 受入地通行証(返却)

# 土砂搬入完了確認依頼書

[承諾番号 神-123456 ]

(株)建設資源広域利用センター 御中

**土砂搬入完了の証明書が必要な場合は提出してください。**

工事請負者 住 所 東京都港区虎ノ門1-2-3

法人名 首都圏建設株式会社

代表者職氏名 代表取締役 首都圏 太郎



次のとおり建設発生土の搬入を完了したので確認書の発行を依頼します。

搬入先(受入地名)	大磯町大磯港				
発注機関	広域町水道建設事務所				
工事名	水23号 広域町水道送水管敷設工事				
工事場所	広域町大字利用				
搬入申込土量	3,000.00 m <sup>3</sup>				
搬入完了土量 (券換算)	券種	使用枚数	積載土量	搬入土量	搬入土量の合計
	10 t車券	530 枚	5.27 m <sup>3</sup>	2,793.10 m <sup>3</sup>	2,793.10 m <sup>3</sup>
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
	t車券	枚	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
土砂搬入開始日	2000 年 7 月 4 日				
土砂搬入完了日	2000 年 11 月 8 日				
工事請負者担当者 (氏名) <b>建設 次郎</b> (電話) <b>000-000-0000</b> (FAX) <b>000-000-0000</b> 完了確認書送付先 (宛名) <b>首都圏建設(株)〇〇作業所</b> (郵便番号) <b>123-0045</b> (住所) <b>〇〇県〇〇市〇〇123</b>					

建設発生土発券システムを使用して申請する場合は、工事請負者の印は省略します。

注意

- 1) 土量は、横須賀市久里浜港はほぐし土量、それ以外の受入地は地山土量とします。
- 2) 土砂搬入完了確認書の発行を希望する場合は必ず当書類を提出してください。

完了時・UCRへの提出書類

完了時の搬入土量	土砂搬入完了確認書	
	必 要	不 要
申込土量の全量を搬入	<input type="radio"/> 土砂搬入完了確認依頼書 <input type="radio"/> 受入地通行証 (返却)	<input type="radio"/> 土砂搬入完了届 <input type="radio"/> 受入地通行証 (返却)
申込土量から減量して搬入	<input type="radio"/> 土砂搬入完了精算書 <input type="radio"/> 土砂搬入完了確認依頼書 <input type="radio"/> (未使用) 土砂搬入管理券 <input type="radio"/> 受入地通行証 (返却)	<input type="radio"/> 土砂搬入完了精算書 <input type="radio"/> (未使用) 土砂搬入管理券 <input type="radio"/> 受入地通行証 (返却)